

介護施設向け新ブランド「ラクタスケア」導入

ライオン

ライオンは8月28日、介護に関する様々な負担・不安を軽減する新ブランド「ラクタスケア」を立ち上げ、第1弾商品として、介護施設向けに開発した業務用の3製品（衣料用液体洗剤、消臭スプレー、浴室用洗剤）を発売した。

日本の要介護(要支援)認定者数は2018年4月末時点で643万人に達し、2022年以降は団塊世代が75歳以上の後期高齢者になるなど、今もさらに介護対象者が増加することが予測される。一方、厚生労働省は2025年には介護職員が約38万人不足すると試算しており、介護の担い手不足が社会課題となっている。こうした中、介護現場では作業負担の軽減が求められている。

同社の先進解析科学研究所とフアブリックケア研究所は介護現場の「独特の不快感臭気」について研究し、ニオイの成分であり尿由来の「パンレンゾール」と、同じく尿由来の「リン酸塩」が共存することで衣類にしみついた「独特で不快なニオイ」が落としにくくなることを突き止め、介護衣類特有の尿臭までスッキリ落とす業務用衣料用洗剤や消臭スプレーを開発。また、同社では「浴室用洗剤の香りが残っていると次の入浴介助に入りにくい」という介護職員の声を受け、香料無配合の業務用浴室用洗剤を開発した。

衣料用液体洗剤「ニオイのモトから取る洗たく用洗剤(本体900g、



つめかえ用4kg、オーブン価格)は、介護現場の独特で不快な臭気に関する研究から得た知見を活用し、落としにくい介護衣類の尿臭をニオイの元からスッキリ落とす。衣類・布製品・空間用消臭剤「衣類・布製品の消臭&除菌・抗菌スプレー(本体350mL、つめかえ用2L、オーブン価格)は、介護施設の悩みのタネとなっていた「ニオイ」を、2大悪臭(尿臭と便臭)に対する高い消臭力を持ち、除菌・抗菌効果で布製品からのニオイの発生を防ぐ。

浴室用洗剤「おそうじクイック浴室用洗剤(本体400mL、つめかえ用4L・10L、オーブン価格)は、1日に何度も入浴介助と浴槽掃除を繰り返す介護施設の要望に配慮、素早い泡切れで浴室掃除のすすぎの時短・節水ができた。

展示会「昭和ノスタルジック」開催

エトワール海渡

エトワール海渡も便利になった現代だ。海渡では9月22日まで、ホームデコ館1階「温かみ」を感じさせる展示会「昭和ノスタルジック」を開催している。

同展示会では、特に昭和40年代(1970年前後)をイメージさせるアイテムをラインナップ。「レトロモダン」では、アルミ製キッチン雑貨アイテムを揃えた。インテリア雑貨などを充実させた。昭和のアイテムは機能性に富んだ商品も多いことも魅力の一つで、今回展示されているアイテムの一つである割烹着は、袖口までカバーできることで衣服が汚れるのを防ぐほか、保温性にも優れているという。

9月からは、アナログ感が魅力のレトロ家電や、昭和の食卓コーナーが追加される。品揃えに悩みの多い端境期の、季節を限定しない商材でのタイムリーな店頭企画を提案していく。



オルビス ソーシャルアクションチームリーダー 小川 洋之 氏



オルビスでは1987年の創業以来、環境負荷低減と一体化した環境経営を積極的に推進し、化粧品業界ではほとんど前例のなかった簡易包装やスキンケアのつめかえ用商品を使い早く導入するなど、「100%オイルカット」に象徴される、常識にとらわれないオルビスならではの取り組みを行ってきた。

そして、2001年には事業を通じた環境活動を行うとともに、体験を通して自然を理解し、社員一人ひとりの環境への意識を高めていくために、全社的な環境活動を主導するプロジェクトチーム「環境委員会」を設置。

公益財団法人オイスカと連携し、虫害に悩んでいた「武田の杜(山梨県甲府市)での森林整備活動を2002年4月にスタートした。同年10月からは、海外でもフィジー諸島共和国でマングローブの植林と子供たちの環境教育を支援する「子供」プロジェクトに

参画し、現在も国内外での森づくり活動を継続的に支援している。小川氏は、環境委員会の初代委員長を務め、これまでオルビスで行った国内外全ての環境活動に参加してきた。

オルビスならではのCSR活動で 企業価値のさらなる向上をめざす

(禁無断転載) ©R
本紙の全部または一部を無断で複製(コピー)することは、堅く禁じられています。本紙からの複製を希望される場合は、出版者著作権管理機構(JCOPY) (03-3513-6969)まで必ずご連絡下さい。